

No93. 目標を定めて

3/15 令和4年度事業計画会議

令和3年度も押し迫り、職員も次年度に向け色々準備を始めているところです。3/15（火）令和4年度事業計画会議を開きました。

施設長からは基本理念、方針、重点目標「もう一步の関わり」虐待防止目標「一人ひとりの意思を尊重しよう」の趣旨が説明されました。


各委員会、活動班はこの2つの目標を基にそれぞれの反省や検討を重ね、達成目標や年間の活動詳細を発表しました。他、GH事業、防災等から、どの委員、班も理念「明るく、素直に、仲良く」に反映された利用者一人ひとりに寄り添った目標を掲げています。

副施設長からは施設の短・中・長期目標の説明があり、職員一人ひとりが取り組むべき目標を発表されました。

目標を達成させるには各委員、班だけでの取り組みでは達成できません。利用者の皆さんが安心安全に生活できるよう一つひとつ、一人ひとりの目標を施設全体でカバーしあい、たくさんの目標が達成できればと思います。

1

シンボルマーク



(1) 啓明会の啓明は、中国の古典詩経の中の「東に啓明あり、西に長庚あり」から採用したもので啓明、長庚共に金星（明星）を意味し、金星が西の空に輝くときは宵の明星（長庚）となり、東の空に輝くときは夜明けの明星（啓明）となる。

啓明会は黎明の空に輝く明星の如く静かなむかりを世に送りたい。

(2) 節操は、夜明けの明星を象し、尚3つの三角形の頂点はそれぞれ天、地、人を象徴する。事業にはすべて天の時、地の利、人の和が大切である。中心の円は円儀、協和の象徴である。

(3) 章の地色の藍は黎明の空、三角の黄は金星、中心の赤は情熱と誠和を示すものである。



「施設の全景」